

元国費留学生会モンブチレとの懇親会

令和7年（2025年）3月18日

3月7日、大使公邸において、文部科学省国費外国人留学生プログラムのチリ帰国留学生会である「モンブチレ」メンバーとの懇親会を開催しました。



集合写真



伊藤大使の挨拶

本イベントには、チリ国際協力庁（AGCID）を代表してマリア・パス・トロンコソ氏が出席しました。AGCID は、日本の文部科学省（MEXT）の奨学金応募プロセスを支援する機関です。また、チリ教育省の国際関係局長であるアクセル・カブレラ大使も出席しました。

AGCID のエンリケ・オフアリル・ジュリアン国際協力庁長官に代わり、トロンコソ氏は日本との緊密な協力関係と、MEXT 奨学金制度がチリの人的資本の専門性向上に大きく貢献していることを強調しました。



AGCID 代表トロンコソ氏の挨拶



新会長ルビー・バルディビア氏の挨拶

伊藤大使は挨拶において、15 年間にわたり会長を務め、モンブチレのネットワークを強化したルイス・ディアス氏の功績を称えました。今年 1 月には、モンブチレ理事会の積極的な協力者であったルビー・バルディビア氏が新会長に就任しました。バルディビア氏は挨拶の中で、MEXT 帰国留学生が各自の専門分野で学んだ知識を活かし、チリと日本の二国間関係の発展に貢献する責任があることを強調しました。



Monbuchile メンバーの再会



日本酒で乾杯

伊藤大使は、生稲外務大臣政務官が本年 1 月に最初の訪問先としてチリを訪問した際に、同外務大臣政務官とモンブチレ関係者の意見交換の機会が設けられたことに言及し、日本政府がチリと元国費留学生との関係を重視していること、両国の貴重な人的資源であるモンブチレ・メンバーとの懇談が高く評価されたことを強調しました。

また、大阪・関西万博へのチリの参加についても言及し、多くの元国費留学生が本年、日本を再訪し、我が国との絆を再確認することを願っていると述べました。



4 月に日本へ渡航する新国費留学生の紹介

この機会に、本年 4 月に新たに日本で研究を開始する国費留学生 4 名が紹介されました。元留学生たちは、自身の経験を基にアドバイスしたほか、和食・日本酒と共に旧友との再会を満喫しました。

元留学生のみならず、新規留学生たちもそれぞれの分野で両国の関係発展に貢献し、モンブチレのネットワークがさらに強化され、両国の更なる関係促進に寄与することを期待しています。